



# 新人戦

ソフトボール部  
神島台グラウンド

11月3日～4日

苦しい練習を支えたのはこの日のため

特集

## プレイボール！！

### 決戦は神島台！！

ソフトボール新人戦は毎年、田辺市の神島台グラウンドで行われます。田辺を一望できる場所にあり、とても清々しくプレイすることができます。グラウンドは何も無いところからスタートし、準備に2日かかりました。時期的に寒くなり出す頃で、風もとても強く吹いていました。そんな中、クラブを引退した3年生も手伝いに来てくれて素晴らしいグラウンドが完成しました。本当にご苦労様でした。

### 夏の雪辱戦

この夏に行われた、高校総体予選では市立和歌山高校と対戦し、4-5で敗北しとても悔しい思いをしました。そして、この新人戦も市立和歌山高校と初戦を迎える事となりました。対戦校は、攻守共にバランスの取れたチームなので始めに流れを掴んで、有利に試合を進めたいと考えていました。

### 確実に1点！！

新チームになってから、大きな当たりを打つようなバッティング練習はあまり行っていませんでした。ボール球を振らずに、確実にストライクだけを当てに行くような練習を行っていました。満塁から大きな当たりで大量得点出来れば一番落ですが、そのような場面ではつかんでしまい、フライが上がって打ち取られることが多いように感じます。そこで、ランナーが出ている場合など確実にランナーを3塁まで送り、スクイズやエンドランで1点を確実な物にするようなバッティングを身につけさせていました。

### 5点の壁

天気は晴れ、気温も過ごしやすい11月3日。待ちに待ったこの日がやってきました。プレイボール1回の表、1番、2番とアウトになりましたが3番バッターがデッドボールで出塁しました。2アウトランナー1塁。送りバントもできない状況で、バッターは打つしかありません。しかし、このランナーを活かすことができず無失点に終わりました。相手の攻撃では、3番バッターにヒットを許しますが無失点で凌ぐ事ができました。2回表、フォアボールなどでランナーが2人まで貯まりましたが、チャ

ンスを活かすことができませんでした。その裏、簡単に2アウトをとった後から7番バッターの2ベースヒットから流れを持っていかれ、合計5点も許すこととなりました。4回には道上の3塁打が炸裂し、直後中村のスクイズで1点返します。この点数は小さいながらも、新チームの一步として大きな役割の持つ1点となりました。次の5回でも室井の2塁打から尾崎のタイムリーで1点返し、5-2と流れがきたように感じましたがその裏、追加点を許してしまい7-2となりました。無情にも試合はそのまま7回を迎えてしまい、ゲームセットとなりました。

### 受難の時

日頃、熊野ソフトボール部を応援して下さいの皆様本当にありがとうございます。総体予選、新人戦と初戦で敗れてしまっている現状を真摯に受け止め、監督共々、初心に戻ってコツコツと練習しています。この試練をどう乗り切るかチームで話し合った結果。技術面だけではなく、メンタル面も大切であると考えさせられる試合展開だったので、日常生活から見直す必要があると考えました。例えば、授業中に最後まで集中することによって、試合中も集中を切らすことなく最後まで頑張れることや、勉強も一所懸命することによって何に対しても手を抜かずにできる人間となって成長する事が大切であると話し合いました。すぐには結果はできませんが、コツコツと努力していくことで必ず結果はついてくると思います。熊野ソフトボール部の部訓である「不断の歩み、不屈の心、夢を夢で終わらせない」を掲げ、ソフトボールだけではなく何事にも一所懸命に出来るチームを目指していけたらと考えています。どうか、これからも応援よろしくお願ひします。



### 選手宣誓

開会に際して、熊野高校2年主の室井彩乃が選手宣誓を行いました。他のチームの主将達が、校旗を掲揚する中心で、「悔いのないように、正々堂々とプレイします。」と大きな声で、宣誓を行いました。



### 5分間ノック

プレイボール前は必ずノックを行います。ここで選手達は、グラウンドの壁や打球感覚、捕球姿勢、送球姿勢を再確認し試合に臨みます。神島台グラウンドの特性は、高台なので、風の影響が強く地面にやや傾斜があり、熊野高校のグラウンドより少し堅めになっています。